



碧南ロータリークラブ週報

第2571回例会 平成23年11月16日(水)

● 会長 石川 春久 ● 幹事 平岩 辰之 ● 会場監督 (SAA) 新美 惣英

2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp
 ■ 会報委員 鈴木健三・菅原 優・永坂誠司・鈴木宏枝



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

● 齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館



石川春久会長

会 長 挨拶

明日は3クラブゴルフ大会の次回ホストとして、23日はガバナー補佐ゴルフ大会も次年度開催会長として、簡単にあいさつせよと言われており、話が長いのだと反省をしております。本当は本日はドラゴンズの話をしたのですが、本日は私の履歴書ということでたっぷり時間を使っていただければと思います。また先程そういった気持ちでいるところへ新美君が来まして、今日会長挨拶を長くお願いしますと言われてましてこんがらがっておりますが、とにかくお二人の履歴書を楽しみにお聞きしたいと思います。

幹 事 報 告

訃報の連絡をさせていただきます。

会員の犬塚敦典様のご母堂様が本日お亡くなりになりました。

例会変更はございません。

・幹事報告書のとおりでございます。

地区よりロータリー東日本震災復興基金会員お一人様5000円以上のご寄付のお願いがございました。理事会において協議の上一律会員一人様5000円のご寄付をお願いいたします。

・20日地区大会は商工会議所へ9時10分にご集合下さい。

・地区大会会場に直接行かれる方は名札をお忘れなくお願いいたします。

・12月14日例会終了後第一回インターシティミーティング実行委員会が開催されます。

・本日例会終了後臨時理事会を201号室にて開催しますので関係者はお集まり下さい。



平岩辰之幹事

委 員 会 報 告

〈出席奨励委員会〉

総会員数71名(内出席免除者14名の内出席者7名)出席者49名	
出席対象者 49/62名	出席率 79.03%
欠席者22名(病欠者2名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 加藤丈太郎君 米山功労賞をいただきました。喜んでます。また、11月19日より開催、山中・神谷両先生の二人展よろしくお祈いします。
- 岡本 明弘君 良い事がありました。
- 山中 寛紀君 先週日曜日、第20回市民ふれあいフェスティバル、好天のもとで無事終えることが出来ました。ありがとうございます。
- 杉浦 栄次君 消防団のボーリング大会で、230点UPのスコアで優勝しました。楽しさの中で団結も深まりましたので、年末・年始に向かい防火・防災に全力を尽くして参ります。
- 大川 隆雄君 本日卓話をさせて頂きます。よろしくお祈いします。
- 鈴木きよみ君 本日は卓話をさせて頂きます。よろしくお祈いします。

卓 話

「私の履歴書」 新入会員 大川 隆雄君

三菱東京UFJ銀行の大川です。

本日は卓話という事で、貴重なお時間を頂きありがとうございます。多くの諸先輩方を前に大変緊張しておりますが、最後までお付き合い頂ければと思います。

私は、1967年（昭和42年）に愛媛県の今治市で生まれました。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、今治は、タオルと造船の町です。今は、両産業とも厳しい状況にありますが、私が子供の頃は、私の伯父も造船会社に勤務しておりましたし、また、私の小学校時代の友人の家は、タオルの製造、染色といったタオル関連の会社を経営していたりと、景気も良く、町全体が造船とタオルで大変活況であった事を覚えています。

私の父の話をしてみると、私の父は4年前に69歳で他界いたしました。父は私と同じ銀行員をやっておりました。愛媛県にある地方銀行で伊予銀行という銀行です。父親の職業の影響で、物心ついた頃から、転校、転校の日々で、愛媛県内を出ることはありませんでしたが、今治、宇和島、また瀬戸内海に浮かぶ島・大三島という島の学校にも通学しました。幼稚園が2つ、小学校が3つ、中学校は2つで、さすがに高校は転校しませんでした。友人が出来た頃には転校といった寂しい思いをしていた事を思い出します。

子供の頃の話をしてみると、小学生の時は、非常に活発で運動は出来るほうでした。小学校6年生の時に既に160センチ近くの身長があり、学校で走るのが一番早く、市内の陸上競技大会でも4位に入賞したりと、自分で言うのもなんですが、スポーツは出来るほうでした。

中学入学の時は、ちょうど宇和島市に住んでいまして、サッカー部に入部いたしました。1年の秋の新人戦からレギュラーで使ってもらい、走るのが速かったこともあり、FWで、快速！？を鳴らしていました。その後2年生の時に、父親の転勤で、生まれ故郷である今治へ転校しましたが、当時サッカーは今ほどメジャーなスポーツではなかったので、転校した中学にサッカー部がなく、野球部に入部しました。但し、中学時代の2年間のブランクはどうしようもなく、野球部では補欠で頑張っていました。

高校は、県立の今治西高校へ入学しました。当時各学年450名が定員でしたが、ほぼ100%が大学へ進学し、そのうち200名強が国立大学への進学、東京大学や京都大学にも毎年各5~6名ずつ入学したりと、地元では一番の進学校でした。

また、石川会長にも興味深くお聞きいただけるかもしれませんが、高校野球でも地元の名門で、



大川隆雄君

たびたび甲子園に出場しています。今年の夏の選手権も開会式直後の第一試合で登場しました。残念ながら、9回逆転負けで、1回戦敗退となりましたが、ちょうど試合が日曜日にありまして、テレビでゆっくり観戦し、久々に校歌を聴く事ができ、大変懐かしく、またテレビで校歌を聴けるのも本当に良いものだとつくづく感じました。

大学は慶応義塾大学に進学いたしました。志望のきっかけは、高校2年生の時に、NHKのテレビでラグビー中継があり、タイガージャージを着た集団が、大学日本一になり、その後の日本選手権で社会人代表であるトヨタ自動車を破って日本一になりました。当時の中継を見てものすごく感動したことがきっかけで、慶応大学に興味を持ちました。当時の成績から、頑張れば、ひょっとすると合格できるかもしれないと思い、一生懸命勉強した思い出があります。当時、私自身、目的意識も無く、漠然と毎日を過ごしていましたが、目標を定めるという事はすごいもので、目標に向かって頑張ることで、その後の成績は上がっていき、3年生の夏頃には模擬試験で合格確実A判定が出るまでになり、希望通り入学することが出来ました。その時の教訓として、目標を明確に定めて、強い気持ちで頑張る事が如何に大切かという事を理解しましたし、その思いは今も持ち続けてやっていっています。

大学の学部は経済学部にて在籍しましたが、勉強の方はぼちぼちで、成績は真ん中くらいでした。大学時代に没頭したのは、テニスと麻雀で、テニスは大学から始めたのですが、同好会でしたが4年生の時に、確か300人くらい参加していた大会でベスト4までいきました。

卒業後は、東海銀行に入行致しました。最初の配属は大阪で3年半ほど勤務しました。その後、入行4年目に名古屋の金山支店へ異動となり、ちょうどその時に結婚しました。もともと中部地区は東海銀行の地元であり、大阪から名古屋へ異動して来た時に、お取引先からの反応があまりにも違う事に驚きました。大阪勤務時から名古屋勤務に変わると、メイン銀行としてお取り引きして頂いているお取引先が本当に多く、入行4年目の若造にも経営者の方が直接お話をし、本当に多くの事を教えて頂きました。営業マンとしての心構えや仕事の楽しさといった、将に銀行員としての基本を授けて頂いた貴重な時期でした。

金山支店勤務後は、企画部へ異動となりました。当時、今後の銀行員人生の中で、自分自身の幅を広げるため、営業とはかけ離れた本部、特に銀行の経営そのものに携わりたいという事で、企画部を希望しました。企画部へ異動した頃は、バブル経済がはじけ、後の銀行暗黒の時代、また銀行だけでなく日本経済全体が大変厳しい時代でした。

当時は、大手証券会社である山一証券や、日本長期信用銀行、日本債権信用銀行、北海道拓殖銀行といった金融機関が次々と破綻し、当時の東海銀行も明日は我が身といった危機感がありました。

当時、富士銀行の株価が暴落したことがあって、当時の自分の感想としては、明らかに過度、行き過ぎであり、不安感を解消するために富士銀行の経営陣は何度もマーケットへ情報発信していましたが、疑心暗鬼となった環境を打破することはできず、傍らから見ていて本当に大変だなと思っていました。この様な状況下、最終的に政府が行った施策が、皆さん記憶にあるかと思いますが、公的資金の導入で、東海銀行も数千億円単位の公的資金をお借りいたしました。

その公的資金も、何もせずに貸して頂ける訳はなくて、資金を入れて頂くために、監督官庁への事業計画提出が義務付けられており、寝る間も惜しんで、計画策定作業に従事しました。

その甲斐もあって、最終的に公的資金を注入して頂いたのですが、金融庁から示唆された際に、企画部のフロアで、企画部長以下全員で涙ながらに拍手や握手をしたことを思い出します。大変厳しい時代でしたが、策定した計画に則り事業計画を確行したことが奏功し、業績は回復しました。注入して頂いた公的資金を国にお返しすることが出来、現在に至っております。

この時私は、苦しい時、企業を立ち直らせるかどうかは、最後は経営者の方の本気度だという

事を感じました。企業再建に向け、本気で考え、行動している企業は、必ず助けがあると思いませんし、当時の銀行も、公表している財務内容から決して破綻するとは思っておりませんでした。なかなか打つ手が見つからなかった状況でした。

その時、頭取が一番最初に行ったことは、「危機感の共有」で、頭取の強いリーダーシップのもと、本部と現場で危機感を共有し、同じ目標へ向かって行動していったことが苦境を乗り越えられた最大の要因だったのかと思います。

私自身、残された銀行員人生も後数年ですが、公的資金という国の施策で、皆さんに助けて頂いたという経験を心に刻み、皆様のお役に立ち、感謝して頂けるよう頑張っていきたいと思っています。

碧南ロータリークラブに入会し、皆様の仲間に入れていただいてから早9ヶ月が経ちました。微力ではありますが、クラブの発展に向け、出来る限り貢献をしていきたいと思っております。今後とも変わらぬご支援、ご指導をよろしく申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

「私の履歴書」 新入会員 鈴木きよみ君

こんにちは(株)クリーン商事の鈴木きよみです。よろしくお願いします。

碧南RCに入会させていただきましたが、ご挨拶しなければと思いつつも未だに、名刺をお渡しできていない方もたくさんおられます。

今回卓話ということで悩みましたが、生い立ちと、クリーン商事に嫁いだ後ダスキン本社での体験を、感じたままにお話ししたいと思います。



鈴木きよみ君

私は、昭和23年に西尾市中畑町で生まれました。祖父母、両親、兄二人家族の末っ子で大変甘やかされて育ったように思います。

4～5歳くらいから母に連れられて、近くのお寺（浄願寺）に通い、お茶やお花、大きくなってからは、お琴、洋裁、和裁、など嫁入り修行らしきおけいこごと、をしながらも、兄たちの影響で、山登りやスキーも大好きで結構やんちゃ娘でした。

夫と婚約後、ダスキンの理念を知っていくことになりました。

昭和47年8月に夫の両親と一緒に、京都市山科にある一燈園の夏の集まりに、参加して、私のいろんな面を知っていただき、鈴木家の一員として育てていただくことになりました。

ダスキンの創業者鈴木清一氏と夫の父は、特別な信頼関係があったように感じています。義父はダスキンフランチャイズチェーンの第1回研修から参加し加盟店となりました。また、アメリカのサービスマスター社と事業提携したお掃除のサービスマスター事業でも、フランチャイズ1号加盟店となっています。

一燈園について調べました。

明治37年西田天香さんによって、創始されたもので、「自然にかなった生活をすれば、人は、何物をも所有しないでも、また働きを金に換えないでも、許されて生かされる」という信条のもとに、つねに懺悔の心を持って無所有奉仕の生活を行っているところです。祈りと生活を共にする中で生活共同体ができ昭和4年に財団法人に認められ、印刷事業、設計建築、農事研究所、すわらじ劇園や幼稚園から高等学校までの教育機関をもち、路頭を基本としての生活をしています。一燈園生活の目標は

あらゆる対立、憎悪、遺恨、争いを生み出す者を、根切れさせ本当の心の平和世界に真の平和が実現することを祈っていくことにあります。生まれ出た時のように自分のものは何もなく、この世から財、物、地位、衣食住、知識や身体さえも仮に預かったもので、どう使わせてもらったらよいかを厳しく問いかけていくことに他なりません。

私の二度目の一燈園の体験をお話します。

昭和47年10月に結婚するとすぐにダスキン本社の営業所で業務の勉強を始めました。数か月後正社員になり一燈園研修が、ありました。5時起床、6時からおつとめ維摩経掲、般若心経等々みんなで唱えます。

初日は、六万行願です。

これは、他家の御便所を掃除させていただくことで、一番下の嫌なことを喜んでさせていただく下座行です。法被を着て手ぬぐいを頭にまき身支度してバケツと雑巾とたわし、だけ持って、一軒一軒「一燈園から来ました、トイレ掃除をさせていただきませんか？」と訪問するのです。何軒も断られました。2時間以上断られ続けた後、ある家で、やっとお許しができました。なぜかうれしくて、一生懸命やりました。ぴかぴかに綺麗になり身も心も感動し泣けてしまいました。この体験は、平成9年に七福醸造(株)の犬塚社長さんが立ち上げられた西三河お掃除に学ぶ会のトイレ掃除ともつながっているような気がします。

2日目は、路頭です。

人は、本来無一物(裸で生まれ裸で死ぬ)生命を何かに役立つ仕事 奉仕をしていく中で、生かされている有難さを体験する行です。京都までの往復切符だけ渡されなにも持たずにでかけました。「何かお手伝いすることありますか？」やはり何軒かことわられたあと、あるパチンコ店の方から、「店の掃除をしてもらえますか？」と声をかけていただきました。無我夢中でお掃除をしていたら、「ねえちゃん！お昼食べて頂戴」と出して頂いたサバの煮つけのおいしかったことと、帰りにパチンコの景品のチョコレートを10個ほど頂き、一燈園の礼堂にお供えしたこともつい昨日のこのように、思い出されます。

初日から3日間一燈園創始者西田天香さんについての講話がありました。生活のすべてにおいて常に自らを他者より下に置くような気持ちで生活すれば、争いのない世の中になるということを教わりました。

この一燈園の研修を終え正式に本社から社章バッジをいただきました。ダスキンでは毎日の業務の始まりと終わり、会議の始まりにおつとめを行っております。祈りの経営の具現化のひとつとして朝には、一日の仕事に対する決意を、夕には、一日の仕事の反省を込め(般若心経、四弘誓願)を唱えています。

私どもクリーン商事では、般若心経は、平成2年頃から唱えていませんが、祈りの経営ダスキン経営理念は、そのまま経営理念として毎日唱和しています。

ダスキン経営理念

一日一日と今日こそは

あなたの人生が(私の人生が)

新しく生まれ変わるチャンスです。

自分に対しては、

損と得とあらば損の道をゆくこと

他人に対しては
喜びの種まきをすること
我も他も（わたしもあなたも）
物心共に豊かになり（物も心も豊かになり）
生きがいのある世の中にあること

経営理念とともに、ダスキンの悲願とダスキンの一家の祈りもいつも唱和しています。とくに悲願は、経営理念の原点になっていると思います。

ダスキンの悲願

謙遜 賢明 剛健の徳を養い仕事の第一は人間をつくる事でありますように働くことが、楽しみであり利益は、喜びの取引からうまれますように商いを通じて人と仲良くなり経済をもって世界平和のお役に立ちますように

ダスキンの一家の祈り

はかなきは、金銭たよりなきは地位
人の思惑も苦しにせず
ただひたむきに懺悔の一路を歩み
己を捧げて報恩の托鉢を致します。

ダスキンの創業者の鈴木清一社長は、この悲願を昭和21年からケントク悲願ということで毎日働きのきちゃん（従業員）と一緒に唱えていました。

今から65年以上も前に、ご当地碧南市新川町にケントクという小さな町工場の社長が、唱えていたことに驚かされます。義父は、このときからの鈴木氏の良き相談、話し相手だったそうです。ダスキンの創業者が、素晴らしい方だったと今更ながら思います。ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内
平成23年12月7日（水）年次総会
次年度理事役員選挙